

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス アロー

## 支援プログラム（児童発達支援）

作成日

7年

11月

28日

法人（事業所）理念		未来に希望を								
支援方針		一人ひとりの利用者さんの力を最大限に伸ばす支援、社会適応力・未来を見据えた支援を目指す。								
営業時間		10時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし
		支援内容								
本人支援	健康・生活	身辺自立の確立（着衣着脱・トイレ・片付け・食事・清潔面） 一人ひとりに合わせ発達段階を見極め、伝え方・教え方を考え丁寧に支援しできることを増やし身辺自立の確立を目指します。またご家庭と相談しながら進め、家庭療育でも発達を促すことできる支援を提供します。								
	運動・感覚	身体のコントロール（歩行トレーニング・集団活動・体幹トレーニング） 自らの身体をコントロールすることで感情のコントロールへと繋げることを目指します。また楽しみながら苦手を克服・得意を伸ばすことを考え、プログラムを組んでいきます。 季節の製作（指先の発達を促す・ハサミ・のりなどの使い方やコツを学ぶ） 季節を感じると共に、指先の器用さを習得できるよう取り組みます。いろいろな教材を通し就学前に必要なスキルを身につけられる支援を提供します。								
	認知・行動	物・色・数字・ひらがな・身近な物等の認知：個別学習で絵カードや実物・写真を使って認知力を高める。 手伝い：自分の行動がどのように影響するのか、自分の行動で助かる人がいるなど、生活の中で知らせ、意欲的に行動できるよう支援します。 色々なことを柔軟にとらえる：色々な人や動物と生活する中で、物事を柔軟に捉えられるよう「そういう時もある」「色々な人がいる」「色々なやり方がある」と知らせていきます。また時にはこだわりを崩す支援を家族と相談をし取り組み、社会に出たときに、色々な人に受け入れてもらえる人材を育成することを目指します。								
	言語 コミュニケーション	発語・意思表示を増やす（挨拶・意思表示・会話等）：一人ひとりの特性や発達段階を見極め、お子様の発語の力を最大限に成長を促せるよう繰り返し取り組みます。 伝える楽しさ（日常のコミュニケーション）：日頃の会話を大切に伝える楽しさやコミュニケーションを向上させます。また大人が介入しすぎず、子どもたちの人と関わろうとする行動を大切にします。								
	人間関係 社会性	友達や色々な人との関わり：集団の活動を通し友達と活動する楽しさを感じられる内容を提供します。（協力する遊び・ルールのある遊び・触れ合う遊び・買い物支援等） 集団で生活する楽しさ：常に集団を意識した支援を心がけ、集団の輪に参加できるようサポートします。								
家族支援		家庭の事情や悩みに応じて家族支援を行う。 必要に応じて集団生活（保育園・幼稚園・学校等）への訪問・相談受付			移行支援		集団生活への引継ぎ			
地域支援・地域連携		近隣の介護施設の世代間交流・動物（保護犬・保護猫）との触れ合い 他事業所との交流・地域のイベントに参加			職員の質の向上		定期的な研修・定期的な会議で情報を共有			
主な行事等		季節のイベント・誕生会・外出・保護者会・避難訓練								